

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう総社		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い施設環境を活かし、小集団活動や個別対応ができる空間設定が整っています。クールダウンスペースや一人になれる環境も確保されており、子どもの特性に応じた環境調整が可能です。清潔管理も徹底され、安心して過ごせる環境づくりができています。	活動プログラムはチームで立案し、固定化しないよう工夫しています。年齢や発達段階に合わせた活動設計ができています。	パート職員への情報共有体制を強化し、支援の統一を図ります。
2	個別支援計画の作成・モニタリング・共有が非常に丁寧で、チーム支援体制が確立されています。毎日の振り返りや打合せを通じて支援の質を高める体制が整っており、計画に沿った支援が安定して提供されています。	PDCAサイクルを回しながら、職員全体で業務改善に取り組んでいます。職員間の話しやすい関係づくりや情報共有体制が整っています。	保護者会や参観日など、保護者同士の交流機会を増やしていきます。
3	保護者満足度が非常に高く、「安心して任せられる」「楽しみに通っている」「満足している」といった声が多く見られます。日常的な情報共有や丁寧な説明が信頼関係につながっています。	安全管理・防災対策が非常に充実しており、避難訓練やBCP、ヒヤリハット共有、虐待防止研修などが継続的に実施されています。	地域交流や地域連携を計画的に進め、社会参加の機会を広げていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	完全なバリアフリー環境ではなく、段差や階段への配慮が必要な場面があります。	施設構造上、段差や動線面での制約があります。	環境整備や声掛けなどで安全配慮を強化します。
2	地域交流や他児との交流機会が十分とは言えません。	地域交流は安全面や調整面で慎重な計画が必要です。	無理のない範囲で地域交流機会を計画していきます。
3	保護者会や家族同士の交流機会が少なく、ニーズが見られません。	保護者交流は個人情報配慮や参加調整が必要となります。	参観日や交流会など、保護者同士のつながりづくりを検討します。